



ら ぶ っ く
La・BOOK

9月号

No.135

秋の読書週間

2023 読書週間 ポスターイラスト大賞
私のペースでしおりは進む



市内各図書館で、10月24日(火)～11月12日(日)
読書週間イベントを開催します、是非ご来館ください!



「大人のための絵本展示」

大人のために絵本を展示します。楽しんだり、笑い転げたり、癒されたり、お気に入りの一冊を見つけてください。職員の思い出、おすすめ本も紹介します。

「読書マラソン」何冊読んだかな?!

携帯やパソコンで、図書館のホームページの「利用照会」からログインし、「読書マラソン大会」の画面をチェック! 期間中に自分が読んだ冊数・順位がわかります。

「ビブリオ★ビンゴ」

図書館の本の背表紙には、本を整理するためのラベルを貼っています。このラベルの文字を使ってビンゴをします。色んなジャンルの本との出会いを楽しんでみてください!



「松本山雅しおり」 配布

10月28日(土)～11月9日(木)に「松本山雅FC特製しおり」をプレゼント!
どの選手のしおりが配布されるかお楽しみに。

安曇野市図書館 10月のイベント予定

☆おはなし会☆

開催館	おはなし会名	開催日	開催時間
中央図書館	おはなしのとびら	毎週水曜日 4・11・18・25日	10時30分から(乳幼児以上対象)
	おはなしとしょかん	21日(土)	10時30分から(幼児以上対象)
豊科図書館	ちいさいたんぼぼ	20日(金)	11時から(乳幼児以上対象)
	おはなしたんぼぼ	20日(金)	16時30分から(幼児以上対象)
三郷図書館	ポケットの会	14日(土)	10時30分から(乳幼児以上対象)
	おはなし会	26日(木)	11時から(乳幼児以上対象)
堀金図書館	おはなしのへや	17日(火)	10時30分から(乳幼児以上対象)
	おりがみのへや	25日(水)	16時30分から(幼児以上対象)
明科図書館	子どもと大人のおはなし会	28日(土)	11時から(乳幼児以上対象)

◆講座など◆

開催館	講座名	内容	開催日時	場所	申込等
中央図書館	映画上映会 手塚治虫アニメワールド バリアフリー対応作品 「アストロボーイ 鉄腕アトム(2008年)／るんは風の中(1985年)」 連続上映 各24分(全48分)	図書館所蔵 DVD を大画面で上映する毎月開催の上映会です。ロボットと人間が友達でいられる世界を目指し、小さな身体で巨大な敵に立ち向かう! /ポスターの女の子に恋をした少年が、その写真の少女を捜し始めるが…。	10月13日(金) 開場午後6時 開演午後6時30分	穂高交流学習センター 「みらい」	・対象: 一般 ・費用: 無料 ・定員: 当日先着100人 ・申込: 不要 ・問合せ先: 中央図書館
豊科図書館	秋の映画上映会 「ゴヤの名画と優しい泥棒」 約95分	1961年、世界屈指の美術ロンドン・ナショナル・ギャラリーからゴヤの名画が盗まれた。犯人は、60歳のタクシー運転手のケンプトン。犯行の動機は? 実話である名画盗難事件を愉快に描いた人情コメディ。	10月15日(日) 開場午後1時 開演午後1時30分	豊科交流学習センター 「きぼう」	・対象: 一般 ・費用: 無料 ・定員: 当日先着50人 ・申込: 不要 ・問合せ先: 豊科図書館
堀金図書館	わくわく講座 「ふうせんであそぼう～いろいろな風船と絵本～」	大きな風船を作ったり、膨らませて飛ばしたり、いろいろな風船で遊びます。	10月15日(日) 午前10時30分～ 正午	堀金公民館	・対象: 小学生以下(未就学児は保護者同伴) ・費用: 無料 ・定員: 先着15人 ・申込: 9月26日(火)から堀金図書館
明科図書館	ひまわり講座① 「オリジナルブックスタンドを作ろう!」	安曇野の木材を使ったブックスタンド作り (講師: 安曇野里山木工倶楽部/さともくの皆さん)	10月14日(土) 午後1時30分～ 3時30分 (受付1時～)	明科子どもと大人の交流学習施設 「ひまわり」	・対象: 小学生以上の児童と保護者 ・費用: 材料費300円 ・定員: 先着5組 ・申込: 9月26日(火)から明科図書館
全館	全館展示 「みんなのできるSDGsの取り組み」	身近にできるSDGsの取り組みを、図書館資料を使って紹介します。	9月30日(土)～ 10月26日(木)	安曇野市内5館	・対象: 児童、一般 ・費用: 無料 ・申込: 不要

一般書 『渚のリーチ』

黒沢咲／著 河出書房新社

表紙

仕事をしながら趣味の麻雀を楽しむ渚は、もっと強くなりたいとプロの試験を受ける。試験に合格し、プロになったものの、仕事との両立や、手痛い失敗。なかなか思うように勝

てない挫折を経験するが、渚は自分だけの雀風を確立していく。そんな中、大規模な麻雀ナショナルリーグ (Mリーグ) 設立の話を知る。「選ばれるわけがない、でもできることなら選ばれたい。」そして、運命の日がやってくる。

現役の麻雀プロが書く、麻雀青春小説です。

児童書 『アリゲイタばあさんはがんこもの』

松山円香／作・絵 小学館

表紙

ワニのアリゲイタばあさんは、森の仲間がたずねてきても追い返しちゃうほどのがんこもので、友だちなんでひとりもいません。でも、強がっているだけで本当は

…。なかなか素直になれないアリゲイタばあさんはみんなと仲良くなれるのでしょうか? 「アリゲイタばあさんはがんこもの」で始まる文章のテンポがよく、読み終えた時にはこわそうな顔のアリゲイタばあさんがかわいらしく見えてくる不思議な絵本です。

一般書 8月の貸出ランキング

- 1 クスノキの番人／東野圭吾
- 2 透明な螺旋／東野圭吾
- 3 コンビニ人間／村田沙耶香
- 4 岳 1／石塚真一
- 5 希望の糸／東野圭吾

AV資料

- 1 ボス・ベイビー／トム・マクグラス
- 2 借りぐらしのアリエッティ／米林宏昌
- 3 コクリコ坂から／宮崎吾朗

編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111
 豊科図書館 ☎71-4022
 三郷図書館 ☎76-3078
 堀金図書館 ☎72-3601
 明科図書館 ☎62-1122

(図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>)

『長野県の浦島太郎』

長野県木曾郡上松町にある「寢覚の床」は、浦島太郎が竜宮城から帰ったあと、諸国漫遊の旅の中で辿り着き、住み着いた地だといわれている。「…たまたま木曾路の寢覚の床に来た太郎は、附近の美しい風景がすっかり気に入って、寢覚の里に住み、毎日寢覚の床に出かけて好きな釣りを楽しんでいた。ある日、里の翁に、昔の思い出話をし、話のついでに忘れていた玉手箱をとりだして開いてみせた。すると中から紫の煙が立ち昇って、太郎の顔に触れると、たちまち顔色が劣えて、三百才の翁になってしまった。…」そして浦島太郎は姿見の池で自身の本当の姿をみて、夢から覚めた。このことから寢覚の床と呼ばれるようになったという。この浦島太郎伝説には河越三喜という実在した人物がモデルになったという説もある。三喜は埼玉の医者で、弘治年間に寢覚の床に住みついた。百歳以上の長寿であったことや、寢覚の床で釣りをしていたことから浦島太郎とあだ名がつき、そこから浦島太郎伝説へと変わったのではないかとされている。浦島太郎伝説は様々な時代で形を変えて語り継がれてきた。ぜひ図書館でいろいろな浦島太郎を読んでみてほしい。

【参考資料】

信州の民話伝説集成 中信編／はまみつを
 木曾 歴史と民俗を訪ねて／木曾教育会

児童書

- 1 きょうれつのできるアイスクリームかきこおりやさん／ふくざゆみこ
- 2 だるまさんが／かがくいひろし
- 3 なつやすみ／麻生知子
- 4 しずくちゃん 18／ぎぼりつこ
- 5 しずくちゃん 5／ぎぼりつこ



く気た書かみの欲しのいれはでじも立秋は過ぎて
 だ軽しも?て秋のい時まの様する夏の
 さにまお選はを秋本期す本々。今名残
 いおす手書如満やかにのがな図日名
 。声の伝は何喫、らふで揃ジ書こ残
 掛でいはでし読、さ、つヤ館のをを
 けおい司すて書食わこてンに頃感

※編集後記※

★文字の読書が困難な方は、図書館へご相談ください★